



渇水対策支部を解散しました

～木曽川水系の渇水対策～

1. 概要 木曽川水系では、5月以降の極端な少雨により河川の流量が減少しダムからの補給を行っていましたが、このまま少雨が続けば、ダムからの補給容量を使い果たし更なる河川流況の悪化のおそれもあったことから、河川管理者としてその対応を行うために、木曽川上流河川事務所及び木曽川下流河川事務所では、6月20日10時から「木曽川上流河川事務所渇水対策支部」及び「木曽川下流河川事務所渇水対策支部」を設置し、関係機関との連絡調整、河川環境への影響把握等を行ってきました。

しかし、このところの降雨により河川の流量及びダムの貯水量が回復し、気象庁の予報によれば今後は平年並みの降雨も見込まれるため、平成29年7月13日10時をもって「木曽川上流河川事務所渇水対策支部」及び「木曽川下流河川事務所渇水対策支部」を解散しました。

なお、支部を解散した後も、河川の流量、ダムの貯水量等の監視を継続していきます。

2. 配付資料 別添のとおり
3. 同時配布 中部地方整備局記者クラブ
岐阜県政記者クラブ
三重県政記者クラブ、第二県政記者クラブ

【問合わせ先】

国土交通省中部地方整備局

木曽川上流河川事務所担当：副 所 長 平松 康宏

総括保全対策官 尾畑 功

TEL 058-251-1321

FAX 058-251-4301

木曽川下流河川事務所担当：副 所 長 大石 晴義

副 所 長 日置 龍朗

TEL 0594-24-5711

FAX 0594-21-4061

木曽川水系の渇水情報(7月13日時点)

渇水状況

中部の渇水情報は、こちら

http://www.cbr.mlit.go.jp/kawatomizu/kassui_zyouhou/index.htm

- ・木曽川水系では、5月以降の降雨量が極端に少なく河川の流量が減少していましたが、回復しました。
- ・牧尾ダムでは6月30日から一次節水を開始していましたが、7月6日に解除しています。
- ・木曽川水系の主なダムの貯水率は、牧尾ダム約70%、岩屋ダム約82%、阿木川ダム約90%、味噌川ダム約90%、徳山ダム約76%となっております。
- ・木曽川及び揖斐川では、ダムからの維持流量の補給を行っておりません。



木曽川大堰の状況



揖斐川平野庄橋地点の状況

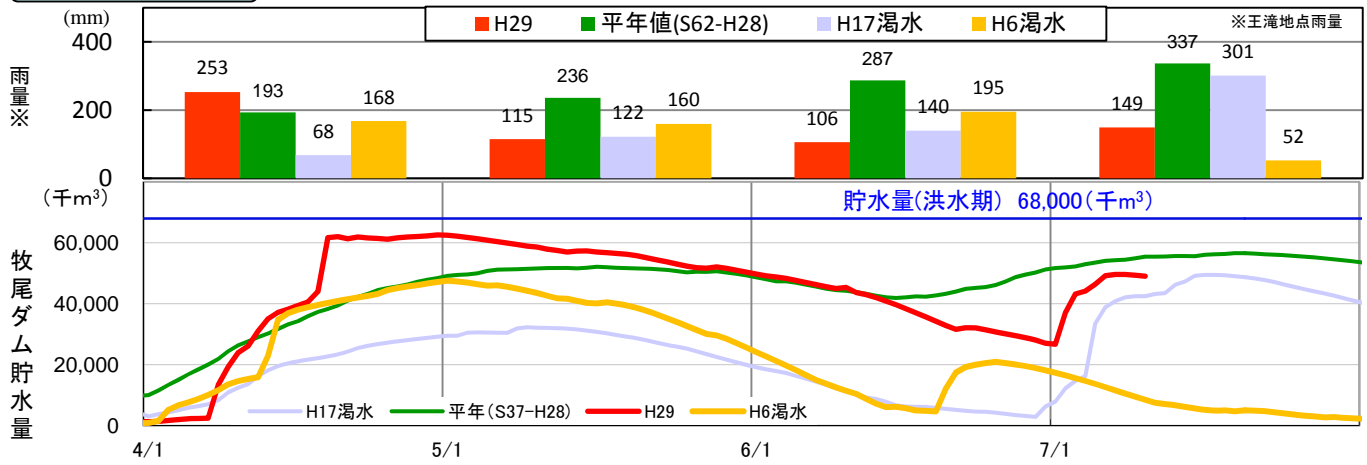


木曽川水系の渇水情報(7月13日時点)

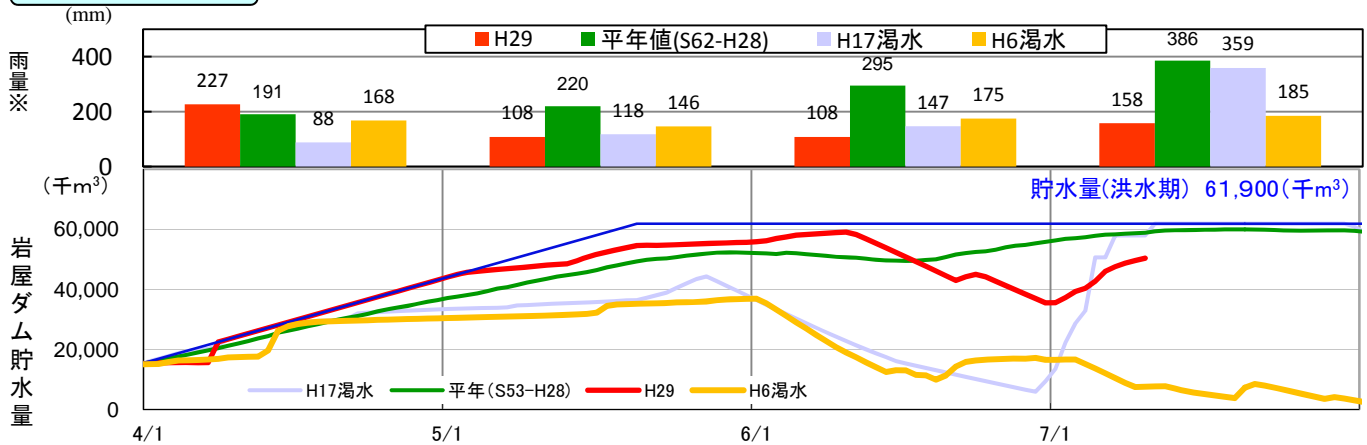
中部の渇水情報は、こちら
http://www.cbr.mlit.go.jp/kawatomizu/kassui_zyouhou/index.htm

牧尾ダム

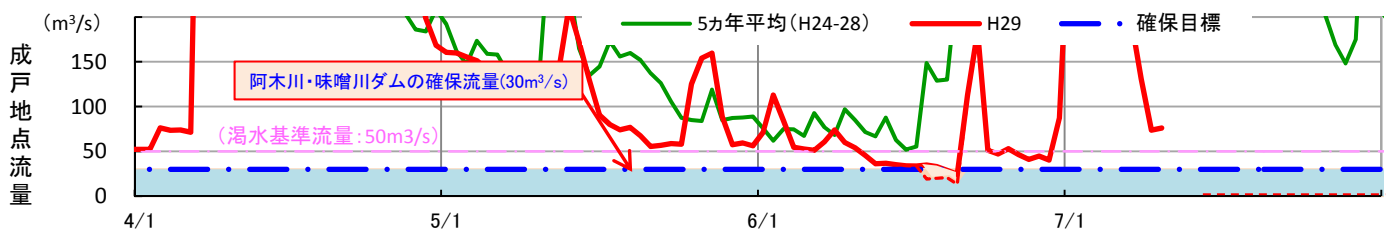
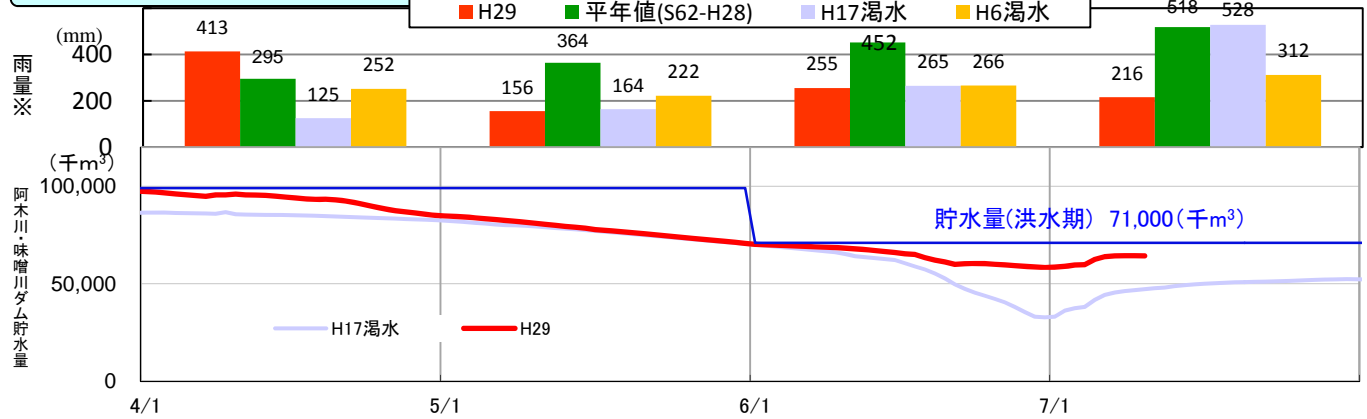
木曽川 降雨・貯水状況等〔速報値〕



岩屋ダム



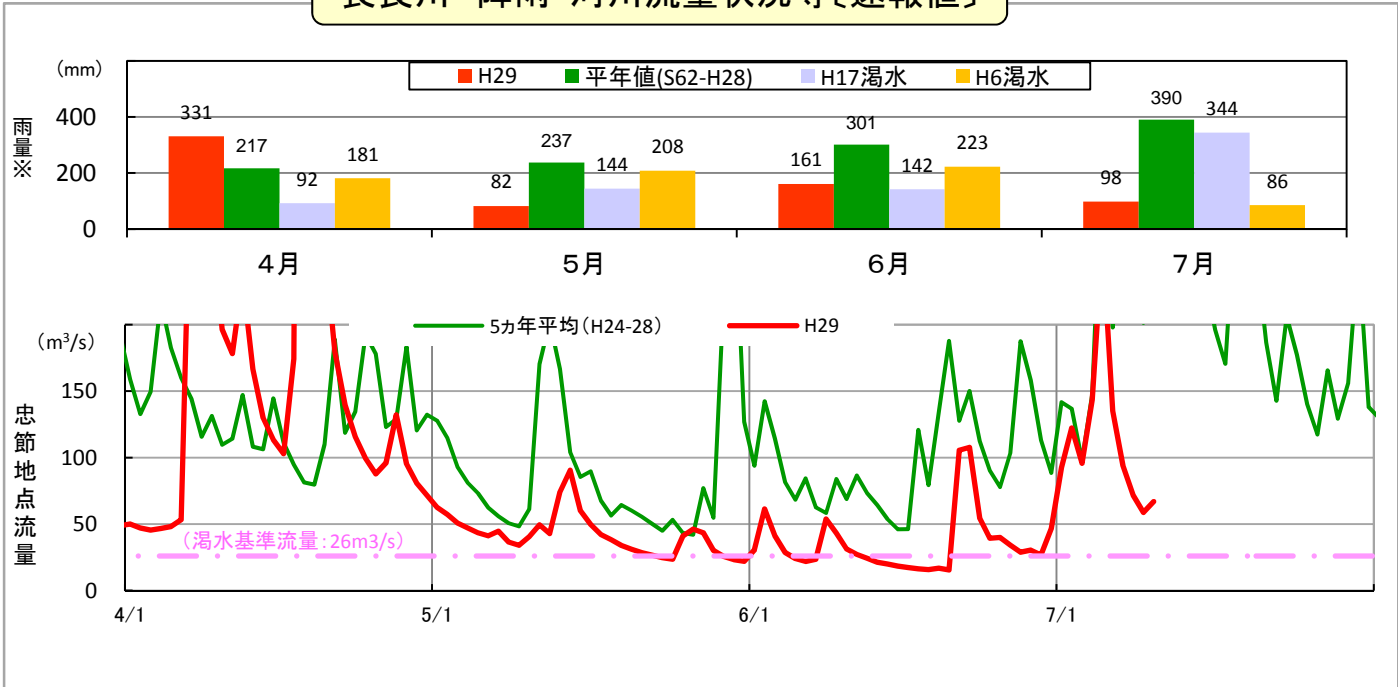
阿木川ダム・味噌川ダム



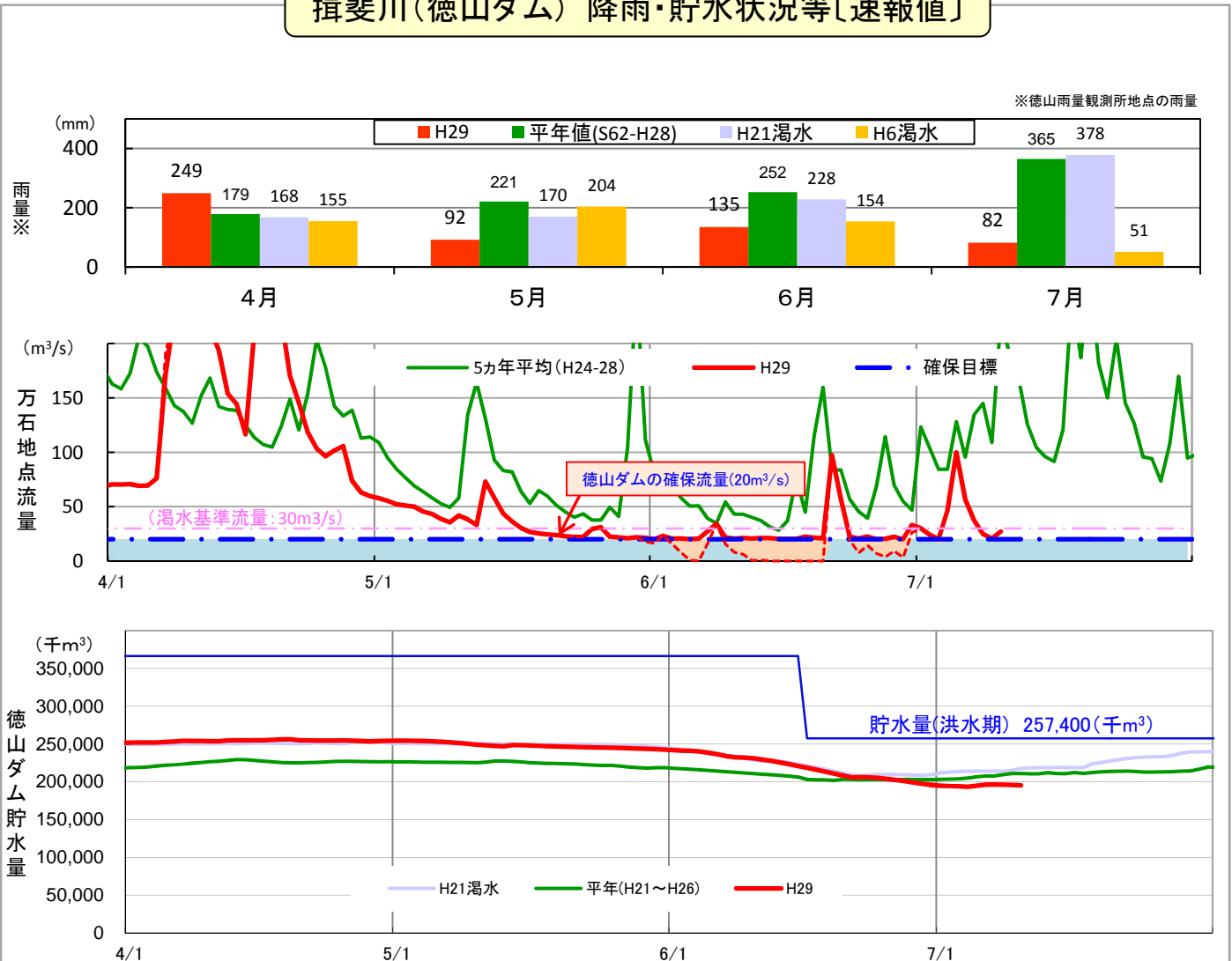
木曾川水系の渇水情報(7月13日時点)

中部の渇水情報は、[こちら](http://www.cbr.mlit.go.jp/kawatomizu/kassui_zyouhou/index.htm)
http://www.cbr.mlit.go.jp/kawatomizu/kassui_zyouhou/index.htm

長良川 降雨・河川流量状況等〔速報値〕



揖斐川(徳山ダム) 降雨・貯水状況等〔速報値〕



木曽川水系の渇水情報(7月13日時点)

これまでの対応状況

中部の渇水情報は、こちら

http://www.cbr.mlit.go.jp/kawatomizu/kassui_zyouhou/index.htm

6月20日に木曽川上流河川事務所・木曽川下流河川事務所渇水対策支部を設置し、関係機関との連絡調整及び河川の状況、河川環境への影響の把握を実施してきました。

このところの降雨により河川の流量及びダム貯水量が回復し、気象庁の予測によれば今後は平年並みの降雨も見込まれるため、7月13日をもって支部を解散しました。

長良川 長良橋下流地点の状況(6/29)



長良川 長良橋下流地点の状況(7/12)



渇水に対する影響調査(聞き取り)

〇6/29 江南商工会議所 様

いまのところ顕著な被害は聞いていないが、過去には、渇水で学校のプールが使えなかったり、晩成白菜の作付けができない年もあり、心配である。

〇6/29 長良川鵜飼観覧船事務所 様

水深が浅くなっている。舟を軽くして安全に航行できるように、バキュームカーでトイレ汚水を毎日処分している。

〇7/5 大垣土地改良区 様

大垣は水の都だが砂地、田畑は浸透が甚だしく干ばつ地帯。平成6年渇水は6月19日頃に神戸の境から万石まで揖斐川が枯れた、水路から水が落ちないように塞いで回った。

〇7/5 イビデン株式会社 様

水の豊富なところでないと成立しない「電子部品」ビジネス。化学処理後の基板や生産ラインの洗浄、薬液調合に日量約1万トンの地下水を使う。揖斐川・大垣扇状地の伏流水が主力ビジネスを支えている。海外進出でも水の質・量のリスクを絶えず考える。中国は特に水資源リスクが高くリサイクルで賄っている。

〇7/11 岐阜市商工観光政策課 様

渇水によるお客様からのキャンセル等もなくホッとしている。長良橋水位が14m以上ないと小さな舟を使わざるを得ないがトイレがないので嫌がられる。今期は一度、鵜飼観覧船の大型船運行支障があったが事無きを得た。

今後の対応予定

- ・**河川等の監視** 河川流量、ダム貯水量等の監視を継続します。
- ・**河川環境への影響把握** 引き続き、定点観測、河川巡視により河川の状況を把握していきます。また、沿川で情報提供、聞き取り調査など河川環境への影響把握を実施していきます。
- ・**関係機関との連絡調整** 引き続き、各機関における情報共有を逐次実施します。